



通巻 132 号  
安曇野市豊科郷土博物館友の会  
令和 6 年 1 2 月 7 日発行

博物館友の会会報

## ジュリーの「我が窮状」

友の会副会長 藤原 恵正

博物館友の会にお世話になって、九年目。今年は、とうとう「古希」を迎えてしまい、さらに「副会長」という役までいただいていた。しかし、それは、ジュリーの「我が窮状」とは、関係はないのですが…。

私の所属する「友の会・戦時生活部」は、この9年間、「安曇野にも戦争があった」をテーマにして調査や聞き取りを重ねてきました。私は、もっぱら「穂高・有明空襲」を調べてきました。一年前にも書かせていただきましたが、有明で空襲のお話をした時、空襲当時小学校4年生で、空襲現場を見てきた男性の方から、「あの時の空襲の現場は、ガザと同じだよ」というお話をいただきました。やはり、そうなんですね。空襲を受けた現場では2名の方が亡くなり、病院で1名の方が亡くなっています。今から、79年前のことなんです。

しかし、ガザだけでなく、今では、世界各地で戦争があり、内乱があり、日本でも、戦争準備につながるようなことが増えてきている気がします。「戦後は、第二次世界大戦の反省から始まった」のではなかったのでしょうか。ここで、沢田研二こと「ジュリー」の登場です。

2008年、沢田研二は、還暦を迎えました。あのジュリーがです。その時に、出した楽曲が「我が窮状」です。作詞が沢田研二、作曲は長く組んできた大野克夫。そして、この曲を私が知ったのは、10年以上前のNHKの沢田研二特集の放送でした。「我が窮状」という題名にもビックリしましたが、内容は、やさしいバラードのような曲の中に戦争への反省が込められて歌い上げられたのです。ジュリーから、「戦争はしてはいけない」というストレートボールを受け取った気分でした。

ぜひ一度お聴きください。今では、ネット上でフルコーラスが気軽に聞ける時代ですから。私は、CDも購入しました。当然、「我が窮状」は、「憲法9条」をかけた言葉です。



我が窮状 CD

## 「友の会の活動を拝見・参加して」

博物館職員 廣瀬 洋子

今年度4月から勤務しており、庶務で友の会の事務を担当しています。友の会については植物調査部で入会しておりましたが、こんなにもたくさんの方が熱心に活動されているとは知りませんでした。

友の会の活動日、学習室の入口を開くと、和気あいあいとした雰囲気皆様とても楽しそう。展示会は素敵な作品の数々に惹き込まれます。どの部会も興味深いものばかりです。好きなことに打ち込み学び続け楽しむ・・・はつらつと活動するお姿に敬服いたします。活動や年齢も幅広く、自然と暮らしの文化部はクララ染めなど小学校で学習支援をしてくださったり、親子参加のタカラさがし部はワクワク感と共に深い学びもある活動が盛りだくさん。大人気なのも納得です。

植物調査は、フィールドで植物を採集し、後日学習会。採集した植物について調べた資料やぎっしり書き記したノート、顕微鏡で観察・・・初めて参加したとき、その熱量に圧倒されました。標本作りは、採集した植物の新聞紙への収め方、その植物の種名を調べる同定作業に悪戦苦闘。毎日新聞を取り換え乾燥させ、その後博物館で冷凍・リスト作り・標本を台紙に貼るマウント作業・ナンバリング・標本ラベル貼り・・・いくつもの工程を部と博物館と協同で作業をすすめてようやく完成！台紙に収まった標本はなんて美しいのでしょうか！思わず見とれてしまいます。100年後まで貴重な資料になることを願い身が引き締まる思いです。

博物館10周年記念のパンフレットを見つけました。当時の熱気あふれる様子が写真から伝わってきます。昭和55年に発足した友の会、44年ものあゆみがあることを胸に刻み微力ながらお役に立てれば幸いです。お気軽にお声掛けください。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

※学習室の後ろに座布団があります。これから寒い季節となりますので、どうぞご利用ください。

博物館友の会の活動											
1	資料整理・植物調査部の活動	2	資料整理・植物調査部の活動	3	資料整理・植物調査部の活動	4	資料整理・植物調査部の活動	5	資料整理・植物調査部の活動	6	資料整理・植物調査部の活動
7	資料整理・植物調査部の活動	8	資料整理・植物調査部の活動	9	資料整理・植物調査部の活動	10	資料整理・植物調査部の活動	11	資料整理・植物調査部の活動	12	資料整理・植物調査部の活動
13	資料整理・植物調査部の活動	14	資料整理・植物調査部の活動	15	資料整理・植物調査部の活動	16	資料整理・植物調査部の活動	17	資料整理・植物調査部の活動	18	資料整理・植物調査部の活動
19	資料整理・植物調査部の活動	20	資料整理・植物調査部の活動	21	資料整理・植物調査部の活動	22	資料整理・植物調査部の活動	23	資料整理・植物調査部の活動	24	資料整理・植物調査部の活動
25	資料整理・植物調査部の活動	26	資料整理・植物調査部の活動	27	資料整理・植物調査部の活動	28	資料整理・植物調査部の活動	29	資料整理・植物調査部の活動	30	資料整理・植物調査部の活動
31	資料整理・植物調査部の活動	32	資料整理・植物調査部の活動	33	資料整理・植物調査部の活動	34	資料整理・植物調査部の活動	35	資料整理・植物調査部の活動	36	資料整理・植物調査部の活動
37	資料整理・植物調査部の活動	38	資料整理・植物調査部の活動	39	資料整理・植物調査部の活動	40	資料整理・植物調査部の活動	41	資料整理・植物調査部の活動	42	資料整理・植物調査部の活動
43	資料整理・植物調査部の活動	44	資料整理・植物調査部の活動	45	資料整理・植物調査部の活動	46	資料整理・植物調査部の活動	47	資料整理・植物調査部の活動	48	資料整理・植物調査部の活動
49	資料整理・植物調査部の活動	50	資料整理・植物調査部の活動	51	資料整理・植物調査部の活動	52	資料整理・植物調査部の活動	53	資料整理・植物調査部の活動	54	資料整理・植物調査部の活動
55	資料整理・植物調査部の活動	56	資料整理・植物調査部の活動	57	資料整理・植物調査部の活動	58	資料整理・植物調査部の活動	59	資料整理・植物調査部の活動	60	資料整理・植物調査部の活動
61	資料整理・植物調査部の活動	62	資料整理・植物調査部の活動	63	資料整理・植物調査部の活動	64	資料整理・植物調査部の活動	65	資料整理・植物調査部の活動	66	資料整理・植物調査部の活動
67	資料整理・植物調査部の活動	68	資料整理・植物調査部の活動	69	資料整理・植物調査部の活動	70	資料整理・植物調査部の活動	71	資料整理・植物調査部の活動	72	資料整理・植物調査部の活動
73	資料整理・植物調査部の活動	74	資料整理・植物調査部の活動	75	資料整理・植物調査部の活動	76	資料整理・植物調査部の活動	77	資料整理・植物調査部の活動	78	資料整理・植物調査部の活動
79	資料整理・植物調査部の活動	80	資料整理・植物調査部の活動	81	資料整理・植物調査部の活動	82	資料整理・植物調査部の活動	83	資料整理・植物調査部の活動	84	資料整理・植物調査部の活動
85	資料整理・植物調査部の活動	86	資料整理・植物調査部の活動	87	資料整理・植物調査部の活動	88	資料整理・植物調査部の活動	89	資料整理・植物調査部の活動	90	資料整理・植物調査部の活動
91	資料整理・植物調査部の活動	92	資料整理・植物調査部の活動	93	資料整理・植物調査部の活動	94	資料整理・植物調査部の活動	95	資料整理・植物調査部の活動	96	資料整理・植物調査部の活動
97	資料整理・植物調査部の活動	98	資料整理・植物調査部の活動	99	資料整理・植物調査部の活動	100	資料整理・植物調査部の活動	101	資料整理・植物調査部の活動	102	資料整理・植物調査部の活動
103	資料整理・植物調査部の活動	104	資料整理・植物調査部の活動	105	資料整理・植物調査部の活動	106	資料整理・植物調査部の活動	107	資料整理・植物調査部の活動	108	資料整理・植物調査部の活動
109	資料整理・植物調査部の活動	110	資料整理・植物調査部の活動	111	資料整理・植物調査部の活動	112	資料整理・植物調査部の活動	113	資料整理・植物調査部の活動	114	資料整理・植物調査部の活動
115	資料整理・植物調査部の活動	116	資料整理・植物調査部の活動	117	資料整理・植物調査部の活動	118	資料整理・植物調査部の活動	119	資料整理・植物調査部の活動	120	資料整理・植物調査部の活動

## 友の会活動

### 「ボタニカルアートの世界」

植物画部長 藤田 忠士

植物画部は、信州ボタニカルアート協会代表の山田恭子先生を講師に迎えて、16名の生徒が、植物の姿かたちをできる限り正確に描くボタニカルアート作品に取り組んでいます。植物の絵を描くと言えば、花を最初に思い浮かべますが、野菜や果物を描く人も居て、表現の難しさに苦労しながらも楽しんでます。1枚の作品を仕上げるのに、長い時間と手間が必要なため、根気と努力が要求されますが、初めて取り組むのは意外と簡単で、決して敷居は高くないようです。気軽に始められますし、少し先生のアドバイスをいただくと直ぐにそれなりの作品が描けます。年一回のボタニカルアート展に出品して皆さんに観ていただける作品も描くことが出来ます。そして「凄い、きれい、写真みたい」等と嬉しい評価も頂けます（半分はお世辞でしょうが）と、ここまではいいのですが、ボタニカルアートは、他の分野の絵画と違い、描く大きさ、形、色が自由になりません、だからこそ入門は楽なのですが、ここからが大変で、その制約の中で、個性を出し気品とか迫力の有る、観る人に驚きと感動を感じていただける作品を描きたいと願うのですが、なかなか思うようにはいかないこの頃です。



### 「コモエスタ!! 安曇野」

郷土史部長 古川 幸男

お久しぶりの郷土史部です。月に一度ひっそりと活動しています。目立つと発表会や展示をやれと言われるので、できるだけ目立たないように努力しています。郷土史部は街歩きや見学会と古文書講座をやっています。今回は特別に11月24日に開催された大町若一王子神社見学会に参加された部員の日記を公開します。



社叢から本殿の説明を聞く

『11月24日(日) 今日は大変寒かったので、行くのをやめて寝てすごそうとしたが、孫と嫁にじゃけんにされたので、しぶしぶ行く事にした。大町の若一王子神社。わかいちではなく、にゃくいちと読むらしい。うーん、今までわかいちって読んできた。これについては黙っていた。境内に入ると、いきなり三重塔!なんで神社にあるのか。中にはなんとかっていう仏様が5体もいる。もっと奥に進むとなぜか観音堂もある!ここは神社じゃねえのかよ。しかも両方とも国宝らしい。わけがわからん。神仏習合とか廃仏棄釈なんて四字熟語みたいなことらしいが難しいのでパス。本殿にいたっては重要文化財だ。…ありがたさに涙がこぼれる。もうお腹いっぱいです。ごちそうさまでした。』

